事業群評価調書（令和７年度実施）

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	土木部　道路建設課	平 博敏
施策名	1 人流・物流を支える交通ネットワークの確立	事業群関係課（室）		
事業群名	③ 生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充	令和６年度事業費（千円）	※下記「２．令和６年度取組実績」の事業費（R6実績）の合計額	19,249,660

１．計画等概要

（長崎県総合計画チェンジ＆チャレンジ2025　本文）

日常生活の利便性、快適性の向上には、道路の幅員が狭くてすれ違いができない区間や、線形が屈曲した区間の解消が課題です。このため、安全で安心かつ快適な暮らしの実現に資するバイパス整備や道路拡幅など、国県道の整備を計画的に推進します。

（取組項目）

ⅰ）国県道の整備推進
ⅱ）街路の整備推進

事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）
	国県道の供用延長（累計）	目標値①		5.2km	13.7km	18.9km	25.3km	37.6km	37.6km (R7)
		実績値②	0km (R2)	5.2km	10.3km	17.9km	22.3km		進捗状況
		達成率 ②／①		100%	75%	94%	88%		やや遅れ

（進捗状況の分析）

公共事業、単独事業ともに早期に事業の効果を発現できるように事業の推進に努めており、令和6年度に交付金事業のうち2工区が全線供用した。

しかし、一部工区において、工事期間中の地元調整に不測の日数を要した等の理由により、目標年次に完成することができず、目標値を下回る結果となった。

令和７年度は完成までの工程管理を確実に行い、目標を達成するよう努めたい。

２．令和６年度取組実績（令和７年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名 / 事業期間 / 所管課(室)名	事業費（単位:千円） R5実績	R6実績	R7計画	うち一般財源	人件費（参考）	事業実施の根拠法令等 法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業（公共、研究等）	事業概要 令和６年度事業内容及び実施状況（令和７年度新規・補正事業は事業内容） / 事業対象	指標（上段：活動指標、下段：成果指標） 主な指標	R5目標	R6目標	R7目標	R5実績	R6実績	達成率	令和６年度事業の成果等
取組項目ⅰ	○	1	道路整備事業（公共）	17,375,553	16,073,150	21,667,273	353,662	453,047	200,289	—	—	—	●事業内容 「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、国県道の整備を国庫補助金で行う。 ●実施状況 各工区の進捗状況により、調査、測量・設計、用地取得、道路改良工事を行い、事業の進捗を図った。	【活動指標】 事業箇所数（箇所）	61 59 61		61 59		100% 100%	●事業の成果 ・令和6年度は（国）389号（多比良バイパス）等の供用開始を行い、各工区の事業推進を図ることができた。しかし、一部工区において、工事期間中の地元調整に不測の日数を要した等の理由により、目標年次に完成することができず、目標値を下回る結果となった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・事業群の目標達成・工程管理を確実に行うとともに、遅れが生じた場合はフォローアップを実施する。
			—											【成果指標】 供用延長（km）	5 6 12		8 4		160% 66%	
			道路建設課	—			—		○			道路利用者								
	○	2	道路整備事業（単独）	1,580,487	1,514,656	1,799,386	196,004	44,943	10,616	74,104	76,281	76,223	●事業内容 「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、国県道の整備のうち、短区間の視距改良や路肩拡幅等の小規模な整備を県単独事業で行う。 ●実施状況 各工区の進捗状況により、調査、測量・設計、用地取得、道路改良工事を行い、事業の進捗を図った。	【活動指標】 整備延長（km）	1 1 1		0.4 0.9		40% 90%	●事業の成果 ・令和6年度は各工区事業進捗を図り、（国）206号（琴海村松工区）等の供用開始を行った。しかし、一部工区において、工事期間中の地元調整に不測の日数を要した等の理由により年度内に整備が完了せず、目標値を下回る結果となった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・工程管理を確実に行うとともに、遅れが生じた場合はフォローアップを実施する。
			—											【成果指標】 交通支障箇所数の解消（箇所）	5 2 0		2 2		40% 100%	
			道路建設課	—			—		—			道路利用者								

取組項目i		3	道路改良調査費	28,222	28,222	438	●事業内容 新規事業化予定箇所の必要性の整理やルートの検討、現地調査を行い、新規事業化に向けた整理を行う。 ●実施状況 調査、設計を行い、新規事業化に向けた整理を行い、事業の進捗を図った。	【活動指標】 事業箇所数（箇所）	1	1	100%	●事業の成果 ・令和7年度新規事業化予定だった5箇所において必要性やルートの検討、現地調査を行い、新規事業化向けた整理ができ、目標を達成することができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・本事業に必要な予算の確保を行い、目標達成へ向け事業推進を図る。
				31,546	31,546	451			1	1	100%		
				26,250	26,250	451			1				
				―				【成果指標】 新規箇所数（箇所）	3	3	100%		
			―						5	5	100%		
			道路建設課	―	―	―	道路利用者		1				
		4	みちづくりスクラム事業費	2,579	2,579	0	●事業内容 重要な幹線道路ネットワークのうち、代替となる市町道の整備を支援することで、地域振興や防災機能向上を図る。 ●実施状況 （対馬市）市道堂坂線 道路改良工の推進を支援した。	【活動指標】 事業箇所数（箇所）	1	1	100%	●事業の成果 ・令和6年度は、昨年度に引き続き対馬市に市道堂坂線トンネル坑口付近の道路改良工に関する経費を支援し、事業推進を図ったことから、目標値を達成することができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・本事業に必要な予算の確保を行うことで市町道の整備を支援するとともに、適切な指導、助言を行う。
				2,687	2,687	0			1	1	100%		
				2,920	2,920	0			1				
				―				【成果指標】 道路進捗率（%）	12	12	100%		
			―						12	12	100%		
			道路建設課	―	―	―	道路利用者（対馬市）		12				
取組項目ii	○	5	重要幹線街路整備事業（公共）	2,123,693	62,663	―	●事業内容 都市の競争力を高める魅力あるまちづくりを推進するために、都市内の交通渋滞の解消及び歩行者の安全性を確保する街路整備を行う。（R4:4路線、R5:2路線、R6：2路線） ●実施状況 （都）滑石町線（大神宮工区） 用地補償、改良工事を実施した。 （都）春日瀬戸越線 調査、用地取得を推進した。	【活動指標】 整備路線数（路線）	2	2	100%	●事業の成果 ・令和6年度は、昨年に引き続き2路線については事業の進捗を図ることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・本事業に必要な予算の確保を行い、目標達成へ向け事業推進を図る。
				1,558,931	44,065	―			2	2	100%		
				2,450,653	8,322	―			2				
				―				【成果指標】 交差点整備箇所数（箇所）	0	0	―		
			―						0	0	―		
			道路建設課	―	―	○	道路利用者		0				
		6	重要幹線街路整備事業（単独）	192,969	79,016	12,254	●事業内容 都市の競争力を高める魅力あるまちづくりを推進するために、都市内の交通渋滞の解消及び歩行者の安全性を確保する街路整備を行う。（R5:5路線、R6：3路線、R7：3路線） ●実施状況 補助事業案件に該当しない取付道路の調査及び設計を行い、本線事業の推進を図った。	【活動指標】 整備路線数（路線）	5	5	100%		
				68,690	5,568	12,614			3	3	100%		
				155,191	4,871	12,605			3				
				―				【成果指標】 交差点整備箇所数（箇所）	0	0	―		
			―						0	0	―		
			道路建設課	―	―	○	道路利用者		0				

3．実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	国県道の整備推進	
	●実績の検証及び解決すべき課題 ○道路整備事業（公共・単独） ・公共事業、単独事業とも必要な予算確保に努め、早期に効果が発揮できるように一部供用開始を行ったが、単独事業においては、地元調整に不測の日数を要した等の理由により工事進捗が図れず目標値を下回る結果となった。 ○みちづくりスクラム事業 ・平成29年度から工事に着手しており、令和5年度は、対馬市に市道堂坂線トンネル坑口付近の道路改良工に関する経費を支援し、事業推進を図ったことから、目標値を達成することができた。	●課題解決に向けた方向性 ○道路整備事業（公共・単独） ・今後も必要な予算確保に努めるとともに、事業実施に当たっては工程管理を確実に行い、遅れが生じた場合はフォローアップを実施することで、事業群の目標達成を図る。 ○みちづくりスクラム事業 ・今後も必要な予算確保に努めるとともに、事業実施に当たっては市町への適切な市道、助言を行い、事業群の目標達成を図る。
ii	街路の整備推進	
	●実績の検証及び解決すべき課題 ・公共事業、単独事業とも必要な予算を確保できたため、工事の進捗を図ることができ、目標を達成することができた。	●課題解決に向けた方向性 ・今後も必要な予算確保に努めるとともに、工事進捗を図っていくよう事業管理を徹底する。

４．令和７年度見直し内容及び令和８年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名 事業期間 所管課(室)名	令和７年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和７年度の新たな取組は「R７新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	令和８年度事業の実施に向けた方向性 事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目ⅰ	○	2	道路整備事業（単独） ― 道路建設課	―	①	交通支障箇所はまだ多く存在しており、今後も事業を計画的に推進していくため、事業実施に当たっては工程管理を確実に行い、市町と連携した事業用地の取得に取り組み、事業推進を図っていく。	現状維持
		3	道路改良調査費 ― 道路建設課	―	①	今後も計画的な新規事業化が必要不可欠であることから、事業の必要性の検討や整備の優先順位の検討を行っていく。	現状維持
		4	みちづくりスクラム事業費 ― 道路建設課	―	⑤	トンネル坑口前後の改良工を展開し、工事進捗を図っていることから、今後のトンネル着手に向けた必要な予算確保やスケジュール確認を行っていく。	現状維持
取組項目ⅱ		6	重要幹線街路整備事業（単独） ― 道路建設課	―	①	事業未着手の都市計画道路を減らし可能な限り早期に整備するためには、今後も計画的な事業化が必要不可欠であり、整備の優先順位や事業展開の検討を行っていく。	現状維持

注：「２．令和６年度取組実績」に記載している事業のうち、令和６年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

① 視点①　事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、 事業の選択と集中ができているか。
② 視点②　指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③　人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④　政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤　県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥　県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦　戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧　国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨ 視点⑨　経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点